

東通原子力発電所 基準地震動, 基準津波の検討状況

2023年 6月19日
東北電力株式会社

基準地震動，基準津波の検討状況について

■基準地震動

- 2022年4月11日の第1039回審査会合で、「内陸地殻内地震」が概ね了承され、「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」は、概ね審査済み。
- 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」は、3月16日福島県沖の地震について、海洋プレート内地震として東北地方で最大規模となる地震であったことから、基本ケースの地震規模をM7.3からM7.4へ見直した断層モデルを設定し、今後、追加説明を予定。
- 「震源を特定せず策定する地震動」は、2023年5月19日の第1147回審査会合で、「地域性を考慮する地震動」は概ね了承され、今後、「全国共通に考慮すべき地震動」の以下のコメントに対して説明を予定。(7月ヒア申込予定)
 - 標準応答スペクトルについて、地震基盤相当面の設定位置について、再検討すること。

■基準津波

- 2022年9月2日の第1068回審査会合における以下のコメントに対して、今後、評価方針の説明を予定。(6月ヒア申込予定)
 - 水位上昇側の津波水位評価位置のうち敷地前面の設定の考え方、取水口前面、補機冷却海水系取水口前面及び放水路護岸前面を評価位置に設定する目的について
 - 地震に起因する津波と地震以外に起因する津波の評価のうち水位下降側の評価の組合せ時間算定位置について、安全機能を有しない取水口前面位置を設定することの必要性について
 - 連動型地震と日高舟状海盆の海底地すべりの組合せ評価のうち水位上昇側の評価について、地震単独の水位よりも水位が低下する理由及び他の組合せ評価方法の必要性について